

1 留学先として日本を選んだ理由

「安全な国だから」「アニメが好きで」「GDP世界3位で技術力が高い国だから」など想定内の答えとともに「2018年のサッカーワールドカップで日本人の観客が試合後スタジアムを清掃する姿をみて興味を持ち、日本の文化やマナーも学びたかった」といった理由も聞かれました。

2 学校生活とアルバイト

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校専門課程の学生は現在全員留学生だけでベトナム人や中国人をはじめ多国籍の学生が在学し、同じクラスにいる学生同士の会話も必然的に日本語になります。

HTML/CSS、JavaScriptなどのプログラミング言語を学習したり、WEB制作の技術を学んだりなどして、日々情報技術について勉強をしています。平日は9時から13時まで授業があります。ただ、課題提出やプレゼンの準備など授業以外に勉強に取られる時間は多く、成績・出席率が良い学生には奨学金のインセンティブがあるので勉強にも力が入るといいます。

アルバイトについて、ジハッドさんとトゥサルさんはハンバーガーショップで、ヤスリンさんは工場で牛乳のパッキングの仕事をしています。ジハッドさんは来日以来一貫して働いていて勤務時間帯は



左から ヤスリンさん、トゥサルさん、ジハッドさん

マネージャーとしてお店を統括し人材育成を任されるほどお店の信頼も厚いとのこと。別のお店で働くトゥサルさんもまた勤務時間帯マネージャーとして活躍し

今回は、岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校（西区）の専門課程に通う情報ビジネス科2年生の3名の学生、バングラデシュ出身のホサイン ジハッドさんとマトゥボール トゥサルさん、インドネシア出身のアルフィン ヤスリンさんに学校のこと、普段の生活のこと、進路のことなどについて話を聞きました。

ています。3人ともアルバイトを通していろいろな日本人と触れ合う機会にもなっているといます。

3 ムスリム(イスラム教徒)としての生活

3人ともムスリムなので日本にいても日々のお祈りは欠かせません。礼拝のためにモスクにも行きます。近いところでは蒲田にモスクがあります。ヤスリンさんはご家族で信仰が厚くコーランを原文(アラビア文字)でも読めるとのこと。

ラマダンやハラルなどムスリムの食べ物にまつわるエピソードは多くあります。彼らは日本ではサーモンやツナのおにぎりをよく食べるそうですが、日本に来た頃、ご飯を覆っているノリは食べ物ではなくて包装している黒い袋だと思って捨てていたそうです。日本人から教えられてノリが食べ物だと知って食べるようになって好きになったそうです。

4 今後の進路

ジハッドさんとトゥサルさんは7月現在就活中でITの会社を希望しています。日本の就活に戸惑いも多いようです。特にSPI*の日本語読解系の問題は漢字だらけで苦戦しているとのこと。一方、ヤスリンさんは別の科目で専門学校に入り直そうかと考えています。将来的にはアニメ関係の職を考えていて家族とも相談しているそうです。

*SPIは就職活動中に採用選考の一つとして課される適性検査のことで学生の能力や人となりを把握するためのテスト。

3人とも仲がよくお互いのことを尊敬している様子がうかがえました。日本での様々な困難をお互いに助け合って乗り越えている仲間の絆が感じられました。



横浜市国際学生会館は、留学生等への宿泊施設の提供と市民の国際理解を目的として横浜市が開設し、公益財団法人横浜市国際交流協会が指定管理者として管理・運営しています。

「留学生による出前授業」で異文化理解・相互交流を目指す

横浜市国際学生会館では会館に住む留学生を講師として市内の小中高校に派遣し、留学生の母国紹介を中心に異文化理解・相互交流を目指す出前授業を実施しています。6月28日に今年度最初の出前授業を市立城郷中学校(港北区)で実施し、留学生の思いや生き方に生徒が触れる貴重な場となりました。その様子を初めて参加した留学生と担当教員の感想で伝えます。【派遣留学生数:6名、交流生徒数:216名】

【出前授業初体験の学生の感想】

ムハマド アイヌン フィキリ 横浜市立大学大学院(インドネシア) 未知なることを知りたいと、目を輝かせ前のめりで話を聴く生徒たちの姿がとても印象的でした。その姿に中学3年間を愛知県で過ごしたことを思い出しました。当初ゼロ点だった漢字テストは同級生と競い合ううち、最後は満点に近い成績が取れるようになったのです。それは目標を持って努力する日本人の同級生の姿に刺激を受けたからで、中学の成長期に刺激に満ちたこの体験がなかったら、今、私は、研究者を目指していなかったと思います。

私は前向きに努力する日本人の姿勢が大好きです。私が日本の中学生から刺激を受けたように、私も皆さんのお役に立てばうれしく思います。人生初の出前授業に挑戦！



人生初の出前授業に挑戦！

リュウ コウセン
劉 又瑄

横浜市立大学(台湾)

最初に、私がアニメ映画の「文豪ストレイドッグス」で、作品の舞台となった横浜にぜひ行ってみたいと思ったことを話したことで、生徒との距離がぐっと縮まりました。外食が盛んな台湾の朝食屋やタピオカドリンクなど食文化への女子生徒の敏感な反応、台湾の歌を正確な発音で歌おうと頑張ってくれたことなど、台湾にたくさん興味を持ってきていることを肌で感じました。その後、アニメ好きな私の似顔絵を表紙にした感想文集が学校から送られ、短時間に生徒がたくさんのご感想を聞き取ってくれたことが分かり、感動しました。

9月の帰国前に出前授業に参加できて本当によかったと思います。将来、皆さんが台湾を訪問し、実際に自分の目で見て体験してくれることを願っています。



手作りの感想文集に感動！

【出前授業を担当した教員の感想】

横浜市立城郷中学校 教員・松尾 百合子

普段接することがない留学生との文化交流は、生徒たちにより刺激を与えてくれました。また年齢の近い留学生による自己紹介や交流体験を通じて親しみを持つことができたと思います。生徒たちは今後、国や文化、背景の異なる人とも接して生きていきます。その上で必要なのは、相手を知り、尊重することだと思っています。今回は、道徳の国際理解授業の学習として「出前授業」を体験してもらいました。この体験が国際理解する上での一助になってほしいと思います。

学生会館からのお知らせ 参加者募集！

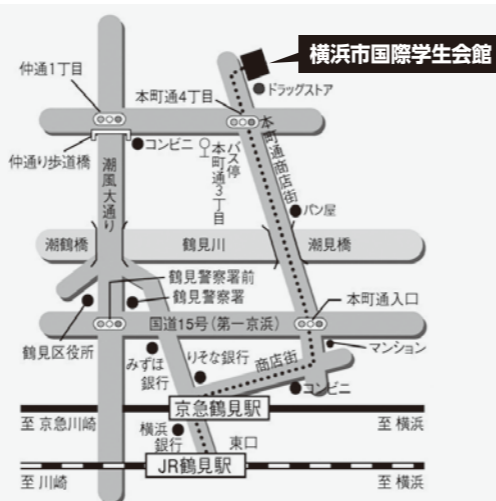
申込は<045-507-0121>まで
詳細は学生会館HP<<https://yish-yoke.com>>をご覧ください。

◆潮田交流プラザの秋まつり <9/25(日)10:00-15:00>(予定)

留学生のステージ等を準備する予定です。皆さんのご来場をお待ちしております。
※新型コロナウイルスの影響で内容が変更する場合があります。

◆留学生による文化講座 ～今とっても気になるベトナム～ <12/3(土)13:30-15:00>

- 費用 600円(中高校生:300円)
※ベトナムのお茶とお菓子つき
- 申込み 11/11(金)午前9時から電話:045-507-0121もしくは
Email: yish@yoke.or.jpにて受付開始(先着順)
【件名】にベトナム文化講座希望と記載の上、
①氏名、②連絡先電話番号をお知らせ下さい。



交通案内 JR京浜東北線・京浜急行線「鶴見駅」より徒歩15分
JR鶴見駅東口より横浜市営バス15系統(4番乗り場)に乗り5分、本町通3丁目にて下車、徒歩1分

開館時間 火曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日、月曜日、祝日 9:00～17:00
休館日 毎月第4月曜日、年末年始

●発行: 横浜市国際学生会館 (YISH)
〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4-171-23
Tel.045-507-0121 Fax.045-507-2441
Email: yish@yoke.or.jp
ホームページ: <https://yish-yoke.com>
●印刷/デザイン: ツルミ印刷株式会社



シリーズ 母国の風景

現代と伝統が調和する都市ソウル(韓国)



ユン ジェホンさん

私の故郷であるソウルは韓国の首都であり最大都市です。韓国の古代歴史である三国時代には百済国(ひやくさい)の首都である慰礼城(いれいじょう)と呼ばれ、その後朝鮮(チョソン)の首都となり、現在まで韓国の政治・経済・社会・文化の中心地としての役割を果たしています。ソウルの面積は60,523平方キロメートルで韓国全体面積の0.6%しか占めていませんが、人口は約950万人で韓国人口の17%を占めており、ソウルの人口密度はニューヨークの8倍、東京の3倍であるほど多くの人々が住んでいる都市です。

このように、多くの人々が居住しているソウルは多くの観光地と食べ物でも有名で、韓国のファッションの中心地東大門(トンデムン)に

は、伝統建築物の昌徳宮(チャンドクン)や宗廟(チョンミョ)があり、そして未来的な江南(カンナム)も人気で、ソウルは知れば知るほど楽しみどころが多い魅力的な都市だと思います。個人的におすすめするソウルの観光地は朝鮮時代の宮殿、昌徳宮(チャンドクン)で、現在残っている朝鮮の宮殿の中でその原型が最もよく保存されており、自然と調和した配置と韓国的情緒(美しさ)が込められているという点が高く評価され、1997年ユネスコ世界遺産に登録されました。

現代と伝統文化が調和して共存する都市ソウル、皆さんも遊びに来ませんか？

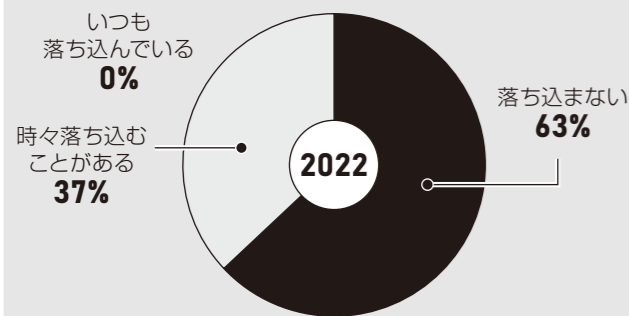
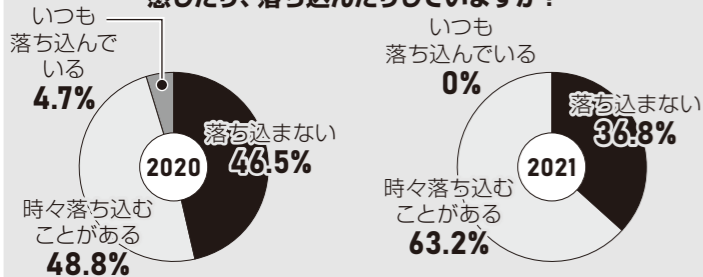


入居者 オンライン アンケート

6/15
6/28

回答者:46人(2020年度:46人,2021年度:57人)

質問1 新型コロナウイルスの影響でストレスを感じたり、落ち込んだりしていますか？



質問2 気分転換をするために、どんなことをしていますか？

※複数回答可。回答数の多いものから順に5番目まで。()内は昨年の順位。

- 1 友だちや家族と電話/オンラインで会話する(1)
- 2 オンラインで音楽を聴いたり、ドラマや映画を観る(2)
- 3 買い物に行く(3)
- 3 自然を求めて出かける(3)
- 5 友達や家族に会う(圏外)

質問3 今、どんなアルバイトをしていますか？(最近までどんなアルバイトをしていましたか？)

※回答数の多いものから順に4番目まで。()内は昨年の順位。

- 1 飲食店(3)
- 1 塾講師、オンライン語学教師(1)
- 3 コンビニ、スーパー(2)
- 4 工場(圏外)

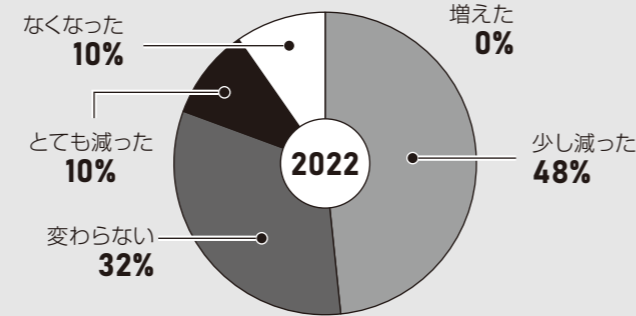
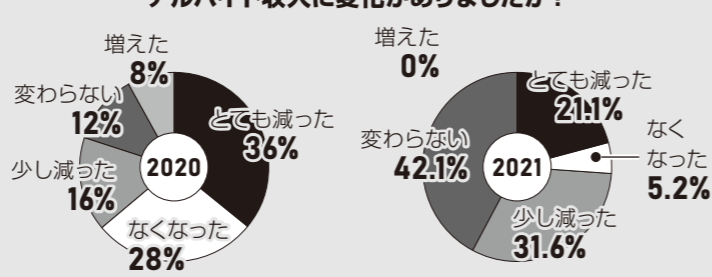
今年は新たにYISHのボランティアさんたちからどのようなサポートを受けてみたいですか？という質問をしました。就職支援や日本語支援の他に挙げられた主な回答は以下の通りです。
 ・日本社会のことをよく知るために、ホームビジットをしたいです
 ・横浜や東京と一緒に訪れたいです
 ・(オンラインでなく)会う機会が欲しいです

一昨年、昨年と新型コロナの感染拡大を機に入居者アンケートをオンラインで実施してきました。今年もその後の留学生たちの状況を確認するため、6月に実施しました。

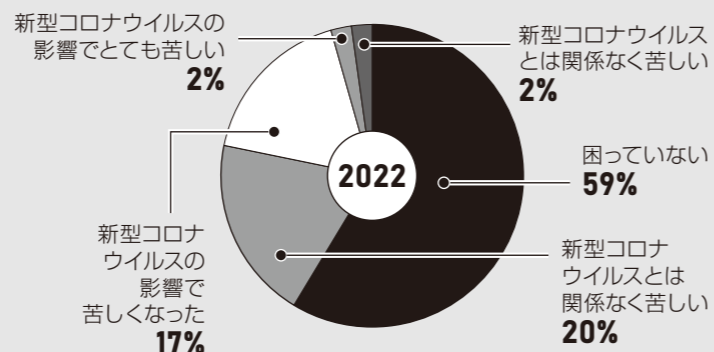
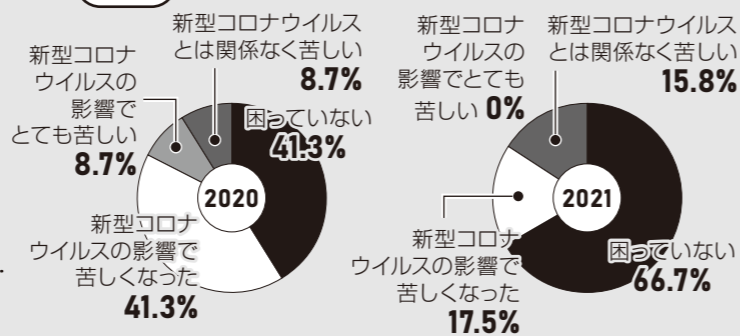
これまでは、長引く自粛生活の影響が見られ、「気分が落ち込んでいる」という留学生が多くいました。今年も、まだコロナ禍が続くものの、経済活動がある程度戻ってきていることを受けてか、「落ち込まない」という留学生が63%に回復し、少しホッとしています。

それでも、2020年にコロナが広がった頃のようなピリピリした空気は学生会館でもなくなりましたが、まだまだ懇親パーティ等は開催できていません。入居者同士の交流を深める機会が少ない中、どのように留学生たちの生活を充実したものにしていくか、今年も課題が残ります。質問2の中で、これまで上位になかった「気分転換のために、友達や家族に会う」という留学生が増えてきたことは、とてもよかった結果の一つです。

質問4 新型コロナウイルスの影響で、アルバイト収入に変化がありましたか？



質問5 あなたの経済状態を教えてください。



留学生の就職活動

学生会館では、多くの留学生が日本での就職を目指して就職活動をしています。しかし、就職が決まってもビザが下りず、日本滞在を泣く泣く諦めなければいけないケース等もあるため、学生会館ならではのセミナーを開催しています。今年度はまずRA(レジデント アシスタント)が企画して4月と6月に開催しました。また、留学生一人一人によって立場や希望、アプローチの仕方が異なるため、マンツーマンの支援もボランティアさんをお願いしています。現在、多くの留学生が暑い中頑張っていて就職活動をしています。留学生の就職支援に関心をお持ちの方がいらっしゃったら、ぜひ学生会館事務室にお声かけください！

～ボランティアさんより～

「皆さん、就職についてさまざまな期待や不安を抱えていると思いますが、日本の企業はやる気のある海外の方々の参加を心待ちにしています。きちんとやる気を日本語で表現することは確かに簡単ではありませんが、皆さんの希望がかなうよう一杯頑張ります！！」
 就職支援担当のボランティア 小山さん

～RAより～

「今回、自身の就職経験をもとにセミナーで話をしました。一般的な選考過程や対策方法等を説明しました。進路を決めていく中でお互いの悩みを共有し、学びのある意見交換会になったと思います。今後もできる限り支援をしていきたいです。」

渋谷颯人 横浜国立大学大学院

※RA(レジデント アシスタント)は、日本人または永住者資格を有する学生で、留学生のサポートをするために学生会館に入居しています。



1対1で留学生各自にあったサポートをしていただいています

留学生がお神輿をお迎えしました！



来年はぜひお神輿を担いで練り歩けるといいですね

6月5日(日)、3年ぶりに、潮田神社の宮神輿が町を練り歩く、ということで、学生会館の留学生たちも法被を着てお出迎えしました。今年はお神輿を見物するだけでしたが、それでも大いにお祭り気分を味わえました。初めてお神輿を見る留学生も多く、貴重な体験となりました。地域の皆さん、ありがとうございます！

～留学生の感想～

◆「日本のお祭りは初めて経験しました。ドラマなどと比べると人が少ないな、と思いました(コロナで縮小開催のため)が、面白かったです。」
 ハン エリン 横浜国立大学大学院(中国)

◆「初めて見ました。また来年も開催されれば、ぜひ参加したいです。」
 ブラテセナ モハメド エドガー 横浜国立大学大学院(インドネシア)

ENJOY! ORIGAMI

日本文化体験「折り紙」を楽しみました！

学生会館の登録ボランティア松林さんのアイデアで、「日本の文化紹介をしよう！」と「ENJOY! ORIGAMI」イベントを開催。2時間みんなドアップリと日本の折り紙文化につかりました。

～留学生の感想～

◆「jumping frog(ぴょんぴょんガエル)がおもしろかったです！ 鶴は作ったことがありましたが、他のものは初めてのものばかりで楽しかったです」
 ショウインツナイ 周迎慧 横浜国立大学大学院(中国)

◆「折り紙はやったことがなかったけれど、いい文化だと思いました」
 レジェソ ナティナエル タデレ 家族滞在者(エチオピア)



「中割織り」などの難しい折り方にも挑戦しました！

なるほど!おもしろい!

世界のことわざ

～オーストリア～

「屋根の上の鳩より手の中のすずめ」 ～明日の百より今日の五十～

この言葉は、遠い理想を追かけるのではなく、目の前の小さなことでも確実に成し遂げ、継続することの大切さを教えてくれます。おばあちゃんだった私は、この言葉と同時に古風にして質実剛健な気質も、受け継ぎました。この言葉を知らなかったら、今、私は日本に来ていないと思います。努力は決して裏切りません。



※横浜国立大学とウィーン大学との交換留学制度で来年3月まで1年間滞在の予定です。

ファッシング ラーラ 横浜国立大学

将来の夢はキュレーター。日本の芸術を世界に発信したい！